

麻醉・蘇生科学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Murata H, Yoshida M, Ichinomiya T, Shibata I, Hara T: Combined airwayscope and fiberoptic bronchoscopic airway management in a patient with a tracheal bronchus. *J Cardiothorac Vasc Anesth* 29(2): e19-20 (IF: 1.463)
2. Murata H, Ichinomiya T, Hara T: Pecs block for anesthesia in breast cancer of the elderly. *J Anesth* 29(4): 644, 2015 (IF: 1.176)
3. Hida K, Sakai T, Hayashi M, Tamagawa T, Abe Y: Sympathotomy for palmar hyperhidrosis: the cutting versus clamping methods. *Clin Auton Res* 25(5), 271-276, 2015 (IF: 1.487)
4. Sakai T, Hida K: In response: Looking for a standardized approach in the surgical treatment of hyperhidrosis. *Clin Auton Res* 25(5), 345, 2015 (IF: 1.487)
5. Kakoki K, Miyata Y, Shida Y, Hakariya T, Takehara K, Izumida S, Sekino M, Kinoshita N, Igawa T, Fukuoka J, Sakai H: Pheochromocytoma multisystem crisis treated with emergency surgery: a case report and literature review. *BMC Res Notes* 8(1):758, 2015
6. Terao Y, Oji M, Toyoda T, Inoue H, Fukusaki M, Hara T: An observational study of the association between microalbuminuria and increased N-terminal pro-B-type natriuretic peptide in patients with subarachnoid hemorrhage. *J Intensive Care* 3: 42, 2015

A-e

1. Hara T, Akiyama D, Shibata I, Yoshitomi O: Postconditioning effects of hypercapnia against myocardial stunning in swine. *Anesth Analg* 120(3): S-71, 2015
2. Shiraishi S, Cho S, Akiyama D, Toyoda T, Maekawa T, Hara T: Sevoflurane preconditioning and postconditioning at clinically relevant doses induce protective effects on hepatic ischemia reperfusion in rats. *Anesth Analg* 120(3): S-156, 2015
3. Sakai A, Murata H, Ogami K, Ichinomiya T, Hara T: Continuous intercostal nerve block for postoperative analgesia against minimally invasive cardiac surgery. *Anesth Analg* 120(3): S-327, 2015
4. Tsuji C, Terao Y, Egashira S, Fukusaki M, Hara T: The changes of retropharyngeal space and retrotracheal space in patients undergoing multilevel anterior cervical spine surgery. *Anesth Analg* 120(3): S-18, 2015
5. Yamashita K, Hara T: A case of brain death that we confirmed the enrollment in the implementation guideline of apnea test by Japanese Society of Anesthesiologists. *J Neurosurg Anesthesiol* 27(4): 375, 2015
6. Terao Y, Urabe S, Tsuji C, Egashira T, Fukusaki M, Hara T: The predictor of major adverse cardiac event in the patients with aneurysm hemorrhage. *Anesthesiology* 116(Supplement): A4104, 2015
7. Egashira T, Fukusaki M, Miura K, Ichinomiya T, Okada M, Sakai A, Terao Y, Hara T: Stellate ganglion block reduces the radicular pain and salivary alpha -amylase activity in patients with cervical spondylosis. *J Anesthesiol Crit Care Med* 2(3): 7, 2015

B 邦文

B-a

1. 高松渥子, 柴田伊津子, 吉富 修, 前川拓治, 趙 成三, 原 哲也: 縦隔腫瘍摘出術中に冠動脈攣縮による心停止をきたした1症例. *日本臨床麻酔学会誌* 35(1): 21-26, 2015
2. 境 徹也, 樋田久美子, 原 哲也: 硬膜外内視鏡の繰り返し施行で長期間治療を行っている脊椎手術後痛症候群の1症例. *日本臨床麻酔学会誌* 35(7): 819-823, 2015
3. 石崎泰令, 寺尾嘉彰, 谷口美和, 松本聡治朗, 酒井亜輝子, 江頭 崇, 辻 史子, 福崎 誠, 原 哲也: ヘルメット型非侵襲的陽圧換気 (NPPV) 管理における気管挿管移行症例の比較検討. *麻酔* 61: 1023-1029, 2015
4. 境 徹也, 原 哲也: 抑肝散で改善した限局性強皮症による胸背部痛の1症例. *痛みと漢方* 25(1): 76-79, 2015
5. 境 徹也: 適切な心理的距離を保つことが有用であった慢性痛の2症例: 患者の思い込み、医師の思い込み. *ペイ*

ンクリニク 36(11): 1551-1559, 2015

6. 樋田久美子, 境 徹也, 原 哲也: 腰神経叢ブロックにより放射線照射治療が可能となった脊柱管狭窄症の1症例. 日本ペインクリニック学会誌 22(4): 558-561, 2015
7. 荒木 寛, 西岡健治, 荒木博子, 趙 成三, 原 哲也, 澄川耕二: 声門マーカーを指標とした気管チューブ固定の問題点. 日本臨床麻酔学会誌 35(1): 15-20, 2015
8. 出雲 剛, 松尾孝之, 林健太郎, 諸藤陽一, 平尾朋仁, 山下和範, 堀江信貴, 上之郷眞木雄, 田崎 修, 永田 泉: くも膜下出血例に対する再破裂予防を企図した救急室での全身麻酔管理. Neurosurgical Emergency 20(1): 55-60, 2015

B-b

1. 原 哲也: 巻頭言「地域医療構想」. 麻酔 64(12): 1227, 2015
2. 原 哲也: 巻頭言「麻酔科サブスペシャリティ」. ペインクリニック 36(10): 1299-1300, 2015
3. 原 哲也: 麻酔薬の心保護作用に関する最近の知見. 臨床麻酔 39(2): 139-146, 2015

B-c

1. 原 哲也: 心筋虚血の予防と治療. (稲田英一(編): For Professional Anesthesiologists 心臓手術の周術期管理, 克誠堂, 東京, pp. 163-74 所収) 2015
2. 原 哲也: セフェピム. (川真田樹人(編): 麻酔科医のための周術期薬物使用法, 中山書店, 東京, pp. 467-469 所収) 2015
3. 原 哲也: 降圧薬. (川真田樹人(編): 麻酔科医のための周術期薬物使用法, 中山書店, 東京, pp. 9-12 所収) 2015
4. 原 哲也: 冠動脈攣縮. (高崎眞弓(編): まれな疾患の麻酔 A to Z, 文光堂, 東京, pp. 120-121 所収) 2015
5. 原 哲也: 麻酔薬の臓器保護作用. (天羽敬祐監修: 麻酔科学レビュー2015, 総合医学社, 東京, pp. 47-51 所収) 2015
6. 前川拓治, 一ノ宮大雅: 心・血管疾患 拡張型心筋症. (高崎眞弓(編): まれな疾患の麻酔 A to Z, 文光堂, 東京, pp. 130-131 所収) 2015
7. 山下和範, 長谷敦子: 【体腔内圧のトラブル:その原因と対処法】 頭蓋内圧亢進 CT室での意識レベル低下 判断力が患者の予後を左右,日頃からのトレーニングを欠かさず. LiSA 22(8): 816-819, 2015

B-e

1. 原 哲也: 高齢者の周術期循環管理: 区域麻酔 vs. 全身麻酔. 麻酔 64: 47, 2015
2. 岡田恭子, 石崎泰令, 一ノ宮大雅, 吉富 修, 前川拓治, 原 哲也: 生体肝移植術中の凝固能モニタリングー ROTEM と一般凝固検査の比較. 麻酔 64: 133, 2015
3. 井上陽香, 前川拓治, 望月夏紀, 一ノ宮大雅, 柴田伊津子, 原 哲也: 生体肝移植術において術中トラネキサム酸投与が線溶系に与える影響ーROTEM を用いてー. 麻酔 64: 133, 2015
4. 白石早紀, 趙 成三, 梶山大治, 豊田智美, 前川拓治, 原 哲也: 揮発性麻酔薬セボフルランによる薬理的ブレ・ポストコンディショニングは、肝虚血再灌流障害を軽減する. 麻酔 64: 139, 2015
5. 濱田 梢, 富永将三, 一ノ宮大雅, 原 哲也: 人工股関節全置換術の術後鎮痛に関する検討. 麻酔 64: 103, 2015
6. 大神敬子, 村田寛明, 酒井亜輝子, 原 哲也: 乳腺悪性腫瘍手術における Pecs II ブロックの効果に関する後方視的検討. 麻酔 64: 107, 2015
7. 原 哲也: 最先端心臓血管外科手術の麻酔管理 低侵襲心臓外科手術(MICS)の麻酔管理. 日本臨床麻酔学会誌 35(6): S195, 2015
8. 北條美能留, 石井浩二, 原 哲也: がん疼痛に対する薬物療法 非オピオイド鎮痛薬. 日本臨床麻酔学会誌 35(6): S197, 2015

9. 小柳 幸, 樋田久美子, 石井浩二, 北條美能留, 原 哲也: 症候性三叉神経痛に対してプレガバリンが著効した2症例. 日本臨床麻酔学会誌 35(6): S335, 2015
10. 酒井亜輝子, 村田寛明, 大神敬子, 弦本敏行, 原 哲也. 臍部に対する超音波ガイド下腹直筋鞘ブロック実施部位についての検討. 日本臨床麻酔学会誌 35(6): S155, 2015
11. 大神敬子, 村田寛明, 酒井亜輝子, 原 哲也, 弦本敏行. 超音波ガイド下大腿神経ブロックの安全性向上に寄与しうる肉眼解剖学的研究. 日本臨床麻酔学会誌 35(6): S154, 2015
12. 一ノ宮大雅, 酒井亜輝子, 井上陽香, 柴田伊津子, 吉富 修, 原 哲也: 術中管理に難渋した両側開胸 MICS による OPCAB、僧帽弁形成術の一例. Cardiovascular Anesthesia 19 Suppl.:313, 2015
13. 酒井亜輝子, 一ノ宮大雅, 柴田伊津子, 吉富 修, 前川拓治, 原 哲也: 劇症心筋炎後の重症両心不全に対する Bridge to Bridge において RVAD 離脱に難渋した1例. Cardiovascular Anesthesia 19 Suppl.:368, 2015
14. 島崎綾子, 山下和範, 原 哲也, 長谷敦子: ポンデギによるアナフィラキシーの1症例. 蘇生 34(3): 240, 2015
15. 石井浩二, 大路牧人, 樋田久美子, 北條美能留, 原 哲也: 乳がん髄膜播種による症候性三叉神経痛に対する治療経験. 日本ペインクリニック学会誌 22(3):430, 2015
16. 山野修平, 井山慶大, 上木智博, 泉野浩生, 田島吾郎, 猪熊孝実, 平尾朋仁, 山下和範, 山口栄一郎, 松平宗典, 田崎 修: マムシ咬傷における抗毒素血清の有用性についての検討. 中毒研究 8(2):190, 2015
17. 猪熊孝実, 上木智博, 泉野 浩生, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 山下和範, 石丸英樹, 田崎 修: 上腸間膜動脈分枝に形成された外傷性仮性動脈瘤に対して TAE が有用であった1例. 日本外傷学会雑誌 29(2):300, 2015
18. 吉岡佐千佳, 平尾朋仁, 山本琢磨, 村上友則, 上木智博, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 猪熊孝実, 山下和範, 村瀬壮彦, 坂本一郎, 池松和哉, 上谷雅孝, 田崎 修: 内因性との鑑別が困難であった外傷性大動脈解離の1例. 日本外傷学会雑誌 29(2): 296, 2015
19. 平尾朋仁, 竹田昭子, 上木智博, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 猪熊孝実, 山下和範, 田崎 修: 人工呼吸器のトリガー作動により無呼吸の評価に難渋した法的脳死判定の一例. 日本臨床救急医学会雑誌 18(2): 429, 2015
20. 水谷和郎, 栗栖 茂, 山下和範: 阪神淡路大震災時淡路病院映像と災害エスノグラフィーによる災害医療教育の試み. 日本臨床救急医学会雑誌 18(2): 220, 2015

学会発表数

| A-a | A-b | | B-a | B-b | |
|-----|--------|----|-----|--------|----|
| | シンポジウム | 学会 | | シンポジウム | 学会 |
| 0 | 0 | 7 | 5 | 4 | 42 |

社会活動

| 氏名・職 | 委員会等名 | 関係機関名 |
|---------|-----------|---|
| 原 哲也・教授 | 代議員 | 日本麻酔科学会 |
| 原 哲也・教授 | 学術集会循環 WG | 日本麻酔科学会 |
| 原 哲也・教授 | 九州支部広報委員 | 日本麻酔科学会 |
| 原 哲也・教授 | 査読委員 | Journal of Anesthesia |
| 原 哲也・教授 | 評議員 | 日本臨床麻酔学会 |
| 原 哲也・教授 | 査読委員 | 日本臨床麻酔学会誌 |
| 原 哲也・教授 | 理事 | 日本心臓血管麻酔学会 |
| 原 哲也・教授 | 査読委員 | Cardiovascular Anesthesia |
| 原 哲也・教授 | 学術集会査読委員 | International Anesthesia Research Society |

| | | |
|----------|---|--|
| 原 哲也・教授 | 評議員 | 日本神経麻酔集中治療学会 |
| 原 哲也・教授 | 評議員 | 日本ペインクリニック学会 |
| 原 哲也・教授 | 九州支部運営委員 | 日本ペインクリニック学会 |
| 原 哲也・教授 | 評議員 | 日本集中治療医学会九州地方会 |
| 原 哲也・教授 | 代表世話人 | 長崎県緩和ケア研究会 |
| 原 哲也・教授 | 委員 | 長崎県移植医療推進協議会 |
| 原 哲也・教授 | 評議員 | 日本循環制御医学会 |
| 長谷敦子・教授 | 理事 | 日本蘇生学会 |
| 長谷敦子・教授 | 心肺蘇生法普及委員会 委員 | 日本蘇生学会 |
| 長谷敦子・教授 | 蘇生学会 ありかた検討委員会 委員 | 日本蘇生学会 |
| 長谷敦子・教授 | 代議員 | 日本医学教育学会 |
| 長谷敦子・教授 | JRC ガイドライン 2015 作成特別委員会 委員 | 日本蘇生学会 |
| 長谷敦子・教授 | JRC ガイドライン 2015 作業部会 会員 | 日本蘇生協議会 |
| 長谷敦子・教授 | 女性医師参画推進特別委員会 委員 | 日本救急医学会 |
| 長谷敦子・教授 | 日本救急医学会女性医師参画推進特別委員会 委員 | 日本救急医学会 |
| 長谷敦子・教授 | 各区域地域医療構想調整会議 委員 | 長崎県 |
| 長谷敦子・教授 | 女性医師の労働・環境問題検討委員会委員 | 全国医学部長病院長会議 |
| 前川拓治・准教授 | 委員 | 全国国立大学病院手術部会議 |
| 前川拓治・准教授 | 第一・循環ワーキンググループサテライトメン バー | 日本麻酔科学会 |
| 境 徹也・准教授 | 世話人 | 日本疼痛漢方研究会 |
| 境 徹也・准教授 | 評議員 | 日本ペインクリニック学会 |
| 境 徹也・准教授 | 査読委員 | Journal of Anesthesia |
| 境 徹也・准教授 | 神経障害性疼痛薬物治療ガイドライン改訂版作 成委員 | 日本ペインクリニック学会 |
| 境 徹也・准教授 | 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処 方ガイドライン改訂版作成委員 | 日本ペインクリニック学会 |
| 境 徹也・准教授 | 幹事 | 日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会 |
| 境 徹也・准教授 | 世話人 | エピソードロスコピー研究会 |
| 山下和範・准教授 | 評議員 | 日本集団災害医学会 |
| 山下和範・准教授 | 評議員 | 日本蘇生学会 |
| 山下和範・准教授 | 長崎市メディカルコントロール委員会委員 | 長崎市 |
| 山下和範・准教授 | 長崎市救急活動事後検証医 | 長崎市 |
| 村田寛明・准教授 | 世話人 | 九州超音波麻酔アカデミー |
| 村田寛明・准教授 | 世話人 | 末梢神経ブロック教育研究会 |
| 村田寛明・准教授 | ワーキンググループメンバー | 三学会合同「抗血栓療法中の区域麻酔・神経 ブロックガイドライン」作成 WG |
| 村田寛明・准教授 | 教育インストラクター（神経ブロック） | 日本臨床麻酔学会 |
| 北條美能留・講師 | 長崎県保健医療対策協議会がん対策部会 委員 | 長崎県 |
| 北條美能留・講師 | 長崎県保健医療対策協議会がん対策部会緩和ケ ア医師研修委員会 委員 | 長崎県 |
| 北條美能留・講師 | 質の高い看護師育成事業（がん分野） | 長崎県 |
| 北條美能留・講師 | 代議員 | 日本緩和医療学会 |
| 北條美能留・講師 | 学術集会運営専門部会サテライトメンバー | 日本麻酔科学会 |
| 北條美能留・講師 | 長崎県緩和ケア研修会 企画責任者 | 長崎県 |
| 関野元裕・講師 | ARDS クリニカルプラクティスガイドライン作 成委員会 協力委員 | 日本呼吸療法医学会 |

競争的研究資金獲得状況(共同研究を含む)

| 氏名・職 | 資金提供元 | 代表・分担 | 研究題目 |
|----------|---------|-------|---|
| 原 哲也・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究 (C) 高血糖における心保護戦略の開発: PDE3 阻害薬の効果 |
| 前川拓治・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究 (C) ブタ希釈性凝固障害モデルにおける ROTEM ガイド下凝固管理法の開発 |
| 村田寛明・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究 (C) 二量体化オピオイド受容体の多様性に立脚したオピオイド鎮痛法確立とその最適化 |
| 北條美能留・講師 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究 (C) オピオイドおよびカナビノイドと二量体化受容体の相互作用の分子機構の解明 |
| 吉富 修・講師 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究 (C) バランス麻酔の虚血心筋保護戦略—心肺蘇生モデルによる検討— |
| 柴田伊津子・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究 (C) GLP-1 の心筋虚血再灌流障害に対する役割と分子機序の解明 |
| 西岡健治・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究 (C) 麻酔薬によるアレルギー性気道リモデリングの抑制—喘息の重症化を防ぐために |
| 稲富千亜紀・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究 (C) 高濃度酸素吸入が幹細胞の動員と臓器虚血再灌流障害に与える影響 |
| 松本周平・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 若手研究 (B) 心筋薬理学的コンディショニング修飾因子の解明:pH 補正の影響と分子機序 |
| 東島 潮・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 若手研究 (B) 冠虚血危険因子による心筋コンディショニング阻害の分子機序とその制御 |
| 一ノ宮大雅・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 若手研究 (B) 抑うつ状態における心筋保護機構阻害因子の解明とその制御 |
| 石井浩二・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 若手研究 (B) 核蛋白 Ki67 を指標とした喘息患者における気道リモデリングの機序の解明 |

その他

非常勤講師

| 氏名・職 | 職 (担当科目) | 関係機関名 |
|---------|----------|---------------|
| 境 徹也・講師 | 非常勤講師 | 長崎大学歯学部 |
| 関野元裕・講師 | 非常勤講師 | 日本赤十字九州国際看護大学 |
| 関野元裕・講師 | 非常勤講師 | 長崎大学歯学部 |